



図書館だより 10月号

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ごあんない

おはなし会 1階・おはなしのへや **★「赤ちゃんおはなし会」** 1階・おはなしのへや

10月 8日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時～ 10月 13日(木) 午前11時～

10月 16日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時～

★図書館おはなし会&工作

(1階・おはなしのへや)

(日時) 10月 22日(土) 午後3時～

(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

(内容) おはなしを読んだ後、ハロウィンにちなんだ工作をします。

★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

10月 13日(木) 午前11時～

◆上映会 2階・視聴覚室

10月 15日(土) 午後2時～

「チャールズ・チャップリン」

キーストン社時代1《150分》

※おはなし会、上映会の事前申込みは不要です。

ハッピーハロウィン!

10月29日(土)・30日(日)

カウンターで「トリック オア トリート」と言うと、小俣図書館オリジナルのブックマーカーをプレゼントします!ぜひきてね★

各日 先着50名★

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

10月 11月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

※9/27(火)～10/6(木)まで特別整理期間で休館です。

マナーアップ企画

見たい!知りたい!教えたい!!

-わたしの図書館・みんなの図書館-

“オシエタイケンゾーン”アンケート募集!!

10月7日(金)～24日(月)



受付 小俣図書館 カウンター

内容 図書館のお気に入り・おすすめ・教えてあげたいことや場所などを、募集します!!

詳しくは、カウンターまで。

11月19日(土)～12月28日(水)の

マナーアップ期間中、2階ギャラリーにて展示します!



古雑誌・古本リサイクルフェア

10月15日(土)・16日(日)

時間 11:00～15:00

(15日は10:30から整理券を配布)

場所 小俣図書館 2階・ホール

内容 保存期限を過ぎた雑誌・図書、家庭で不用になった本をリサイクルします。

※15日は1人1回の入場で10冊まで、

16日は入場・冊数ともに制限はありません。

図書館だより 10月号

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社 図書館流通センター
(住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35
(電話) 0596-21-0077
(FAX) 0596-21-0078
(ホームページ) http://islib.city.ise.mie.jp/

こんにちは、いせABちゃんです!
毎月第2日曜日は、上映会を行っています。
今月は浅田次郎さん原作の『地下鉄に乗って』。
いせABちゃんも楽しみにしています(*^v^*)
関連本を集めたコーナーもあるので、ぜひ、見ていって下さいね!

「おはなし会」

《日時》毎週土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

10月1日/おにいさん、おねえさんによるおはなし会
10月8・15・22・29日

/おはなしプーさんによるおはなし会

*** 5週目(29日)は、ストーリーテリング。絵本を使わずに語って聞かせるおはなし会です。***

「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》10月27日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、手遊びなどをします♪

あかちゃんえほんのじかんは、毎月第4木曜日です★

「読書感想画展」～みんなで描く、本の世界は無限大!～

《日時》9月30日(金)～10月13日(木)

《場所》2階・展示ホール

《内容》7、8月に募集したみなさんの読書感想画を、小俣図書館に引き続き、伊勢図書館でも展示します。ぜひ、ご家族で見に来て下さいね。

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜日・第2金曜日・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館・休館日カレンダー

10月 11月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

近鉄線にのって ももんちゃんがやってくる!!
とよたかずひこさんの親子で楽しむおはなし会

10/27(木)～11/9(水)は、第65回読書週間!! 「信じよう本の力」

《内容》ももんちゃんが伊勢図書館にやってくる!

『でんしゃにのって』のうららちゃんも、

ワニのバルボンさんもやってくる♪

子どもたちに大人気の絵本作家、

とよたかずひこさんによる、

読み聞かせをメインにした楽しいおはなし。

本の販売とサイン会も行います!

《日時》11月3日(木・祝) 文化の日

午後1時30分～3時30分

《場所》2階・視聴覚室

《対象》どなたでもご参加いただけます。

《定員》90名

《申込》10月15日(土)から、

直接カウンター・電話・

FAXで伊勢図書館へ。

カット:『ももんちゃんぽぽー』とよたかずひこ/さく・え 童心社 より

本のごあんない

〔一般書〕

十三夜 — moonlight concerto

「夜に入り、明月蒼然。明月蒼々たり」
明月記—藤原定家

春花秋月…、月がもっとも美しい季節は秋。
日本では中秋の名月だけでなく、「月の名残」といわれる十三夜の月も後の月見として鑑賞されます。「二夜の月」といえば十五夜と十三夜の月のこと。両方見ない事を片月見といって嫌います。

- ◎ 月光 (林次次/写真・文 角川書店)
- ◎ 月に恋 (ネイチャー・プロ編集室/編 PHP 研究所)
- ◎ 日本の名随筆 58 月 (安東次男/編 作品社)
- ◎ 秀句三五〇選 9 月 (加古宗也/編 蝸牛社)

moonlight blue…、
秋の月は「蒼」。
神秘的な蒼い月の光が水面に揺らぐ…、
どこからか流れるのは「Moon River」の調べ—
今宵出会うのは、後の月—

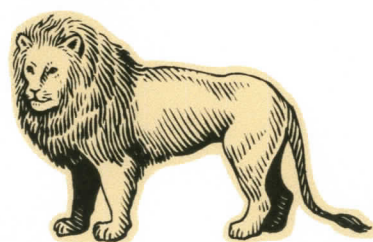


〔児童書〕

秋は“読書”の季節です

今年は、児童書の映画化がたくさんありました。
そこで、今まで映画になった外国文学をご紹介します。
映画をみたことがある人も、これからみる人も、原作本ならではのおもしろさを味わってみよう！

- ★ パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々 (1)~5、外伝 (リック・リオーダン/作 金原瑞人/訳 小林みき/訳(2~5) ほるぷ出版)
- ★ 床下の小人たち (メアリー・ノトン/作 林容吉/訳 岩波書店)
- ★ ヒックとドラゴン 1~8 (ヒック・ホランダス・ハドック三世/作 クレシッダ・コーウェル/古ノルド語訳 相良倫子/日本語共訳 陶浪亜希/日本語共訳 小峰書店)
- ★ 朝びらき丸東の海へ ナルニア国ものがたり 3 (C・S・ルイス/作 瀬田貞二/訳 岩波書店)
- ★ ラフンツェル ((ケム/原作) 那須田淳/訳 北見葉胡/絵 岩波書店)



〔ヤングアダルト〕

Trick or Treat !! —お菓子をくれなきゃいたずらすぞ!—

ハロウィンの夜、子どもたちは、お化けや怪物の衣装をして「Trick or Treat !!」と叫びながら、近所を歩きます。そしてお菓子がもらえなければ、かたっぱしからいたずらをしかけるのです。
さあ！あなたも「Trick」を楽しみませんか？

〔一般書〕

- 真夜中のギャングたち (バリー・ユアグロー/著 柴田元幸/訳 ヴィレッジブックス)
- お化け屋敷で科学する！ (日本科学未来館/協力 扶桑社)

〔児童書〕

- みんなをビックリさせる！かんたん手品がいっぱい！ (カルチャーランド/著 メイツ出版)
- たのしいマジック (ゆうきとも/〔著〕 よしながこうたく/挿画・さし絵 吉沢博司/演じ方イラスト 偕成社)
- デイジーのおおさわぎ動物園

(ケス・グレイ/作 吉上恭太/訳 ニック・シャラット/絵 ギャラリー・パーソンズ/絵 小峰書店)



★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

「ふみくら」

—神都における図書館—

ふるさとの風
～神無月～



10月27日から11月9日は「読書週間」。
戦後間もない昭和22年、まだ戦火の傷あとが残るなか、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと始まったのが読書週間である。

神都伊勢において、図書館の役割を担っていたのは「文庫」であり、また文庫は一種の学校という性質ももっていた。

慶安元(1648)年、出口延佳の提唱に同志70名が賛同・出資して設立したのが「豊宮崎文庫」。その名称については、豊受大神宮の先にあることから名付けられたようである。
全国から当文庫に著書を寄贈した人も多く、それらの図書を整理し、保管して利用に供していた。そして図書の扱ただけでなく、講師を招いて講演を行うこともあった。室鳩巢、伊藤東涯、また大塩平八郎などが講師を務めたという。
郷土の学者、足代弘訓や御巫清直らもこの文庫で学んでいた。

文庫が設立されるまで、神宮には内宮に「文殿」、外宮に「神庫」という建物があり、書籍を保存していたが、一般に公開されたものではなかった。延佳らは外宮祠官や子弟等、志学の者が利用でき、学問所にもなる文庫を目指していたのである。



また、内宮側の「林崎文庫」も様々な歴史をもっている。貞享3(1686)年、宇治会合所の年寄等が山田奉行岡部駿河守に請い、幕府の下賜金を得て翌年丸山の地に「内宮文庫」が建設された。そして、この地が湿潤で図書の保管に適さないという理由で、元禄3(1690)年に林崎に移し「林崎文庫」と改称した。現在、林崎文庫は内宮宇治橋の向かいにひっそりと佇む。その門の瓦には、左右にそれぞれ「正」「直」という文字が刻まれている。

「浄明正直」—「浄く明るく正しく直く」。神道の精神である。

かつてここを訪れた者たちはみな、「正直」の門をくぐり、その精神を学んだのであろう。簡素で落ち着いた建物を眺めていると、かつてここで討論した者たちの声が聞こえてくるようである。



両文庫ともに、わが国調査研究図書館の先駆をなすものとされている。

— 私たち伊勢図書館は平成4年10月、

岡本より現在の地に移転し、新図書館として来年20周年を迎えます。

郷土資料を所蔵する「ふるさと文庫」は、先人たちが紡いだ知識の宝庫です。—

➡ 伊勢市史 第七巻 文化財編 (伊勢市/編集 伊勢市 L243/イ/7)

➡ 宇治山田市史 下巻 (宇治山田市役所/編 国書刊行会 L243/ウ/2)

➡ 三重の歳時記 (中野イツ/著 光書房 L386/ナ/1)